







テーマは「**優しさ**」福祉について考えます。 優しさ通信NO. 1
ここでは障害者のことを、「障がい者」と記しています。ご理解ください。

令和元年 **9** 月の**優しさ**通信

目次

- (1)  音楽療法、江戸の昔から
- (2)  通学・就労の介助費支援 大阪府
- (3)  介護ロボに公的保険 厚労省検討 人手不足支援に
- (4)  認知症リスク 細身の人高く
- (5)  国の障がい者雇用 2.31% 4割の機関、法定基準未達
- (6)  障がい者 900人、職場で虐待

♥ 今月の福祉用具 - 床ずれ防止関連用具 その1 じょくそう 褥瘡の原因

(1) 音楽療法、江戸の昔から

* 病気の治療や予防に音楽を役立てる「音楽療法」は、認知症や脳の疾患による後遺症の治療、発達障がいへの対応など、医療現場に広く取り入れられています。

* 音楽を聴くだけでなく、患者が楽器を演奏したり歌ったりすることで、症状を和らげたり心身の発育を促したりする効果を見込みます。

(2019年8月2日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(2) 通学・就労の介助費支援 大阪府



重度障がい者、来年度から

* 大阪府は、重度の障がいを持ち「重度訪問介護」を受けている府民を対象に、通学や就労時にかかる介助費用を府と市町村で支援したい考え。

・2020年度からの実施を目指します。

* 2018年9月末時点で、重度訪問介護を受ける府内の18歳以上の障がい者は2462人。

(2019年8月8日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



テーマは「**優しさ**」福祉について考えます。 優しさ通信NO. 2
ここでは障害者のことを、「障がい者」と記しています。ご理解ください。

(3) 介護ロボに公的保険 厚労省検討 人手不足支援に

*厚生労働省は、介護支援ロボットを公的保険制度の適用対象とする検討。

・2021年度の介護報酬改定で対象に加えるかを判断。

*介護施設では人手不足や職員の高齢化が課題。

*介護者の腰につけて作業を支援するパワーアシストスーツや、要介護者の歩行を支える「アシストカート」などは、都道府県の基金を通じて導入時に1機器あたり最大で30万円程度を支給。

*介護業界で働く人は2016年度時点で190万人。2025年度には245万人が必要。

*2018年度の介護関係者の有効求人倍率は、全職種の2.7倍。

(2019年8月12日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(4) 認知症リスク 細身の人高く

日本人女性で顕著 標準の1.7倍



千葉大など 欧米と逆、体質影響か

*日本人の痩せている人は、認知症になるリスクが標準体型の人に比べ最大72%高いとの結果を千葉大などの研究グループがまとめました。

・欧米では肥満の人が認知症になりやすいとの研究結果。

・日本人は認知症リスクを高める糖尿病を痩せていても発症する体質なことが背景に。

*太っている人ほど発症リスクが低いという結果。

*筋肉が落ちることで認知症の発症リスクが高まる可能性も。

・体重を落として筋肉まで減ると、脳を刺激するホルモンが減少するなどの悪影響。

(2019年8月24日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



テーマは「優しさ」 福祉について考えます。 優しさ通信NO. 3
ここでは障害者のことを、「障がい者」と記しています。ご理解ください。

(5) 国の障がい者雇用 2.31% 4割の機関、法定基準未達

*国の機関の障がい者雇用率が、2019年6月時点で2.31%。

*国は法定雇用率(2.5%)を満たすため採用を急いでいますが、依然4割近い機関が達成できていません。

障がい者雇用の基準を満たしていない主な国の機関

	雇用率 (%)	不足数 (人)
外務省	1.03	96.0
内閣府	1.52	33.0
農林水産省	1.86	100.5
防衛省	1.99	117.0
国税庁	2.18	189.0



*雇用率を満たしていたのは、厚生労働省(3.12%)や警察庁(2.89%)、気象庁(3.05%)など。

(2019年8月29日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



(6) 障がい者 900人、職場で虐待

昨年度被害「経済的」が最多

*職場の上司や雇用主などから虐待を受けた障がい者は、2018年度で900人。

*過去最多だった2017年度(1308人)に比べると約31%減少。

*虐待の種類別では、不当に低い賃金で働かせるなどの「経済的虐待」が最多。

・暴言などの「心理的虐待」(92人)、殴る蹴るなどの「身体的虐待」(42人)。

(2019年8月29日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



テーマは「**優しさ**」福祉について考えます。 優しさ通信NO. 4
ここでは障害者のことを、「障がい者」と記しています。ご理解ください。



今月の福祉用具－床ずれ防止関連用具 その1

じょくそう 褥瘡の原因

*褥瘡の原因は、圧迫、ずれ、湿潤、栄養不良が考えられます。

①圧迫

*圧迫と葉、皮膚に対する垂直な力。

*参考基準値としては、対表面接触圧 32mmHg 以下にして、体位変換は2時間以内。

*病的骨突出や関節拘縮、浮腫、意識状態の低下があると、より圧迫を起こしやすくなります。

②ずれ

*皮膚に対する平行な力。

*体表面のずれは圧迫と同時に起こることが多くあります。



③湿潤

*皮膚が湿潤していると皮膚のバリア機能（防御機能）が低下し、皮膚がふやけた状態では皮膚の結合組織が脆弱になり、損傷を起こしやすくなります。

*失禁している場合、尿は放置しておくとうアルカリ性に傾き、細菌感染しやすくなって皮膚刺激性が高まることから褥瘡が発生しやすくなります。

*湿潤は皮膚と寝具の摩擦係数を高め、ずれ力を増大させてしまいます。

④栄養不良

*褥瘡発生予防のための必要な栄養がとれないこと。

*褥瘡発生のリスク高めるだけでなく、褥瘡の治癒を遅らせてしまいます。

*栄養不良懸念の目安としては、血清アルブミン値の低下、貧血、むくみ、浮腫、脱水。

(参考：福祉住環境コーディネーターテキスト&福祉用具専門相談員研修用テキスト・介護用品カタログより)

